

船舶事故調査報告書

令和6年12月18日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突（棧橋）
発生日時	令和6年3月31日 08時10分ごろ
発生場所	香川県直島獅子渡ノ鼻西方沖 讃岐寺島灯台から真方位236°611m付近 （概位 北緯34°28.7′ 東経133°58.0′）
事故の概要	貨物船第八十三社丸は、着棧操船中、棧橋に衝突した。
事故調査の経過	令和6年5月16日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 第八十三社丸、498トン
船舶番号、船舶所有者等	140682、株式会社ジェイエスマリン（A社）
乗組員等に関する情報	船長、三級（航海）
負傷者	なし
損傷	本船 右舷船首部外板に亀裂及び擦過傷 棧橋 防舷材を設置しているコンクリートに欠損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南東、風速 約2m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の末期
事故の経過	<p>本船は、船長ほか4人が乗り組み、直島獅子渡ノ鼻西方に設置されている企業棧橋（以下「本件棧橋」という。）に着棧するため、船長が単独で操船に当たり、手動操舵により、約3ノットの対地速力で同棧橋に接近した。</p> <p>本件棧橋は、西端、中央、東端の三つのブロックから構成されていた。</p> <p>船長は、本船が本件棧橋西方沖150m付近に至った際、本船が本件棧橋とほぼ平行となるよう、船首を東南東方に向けた。</p> <p>前部甲板に配置された乗組員は、船長に本件棧橋との距離を報告していたが、本船が本件棧橋西端ブロックに近づいた際、本件棧橋との正横距離が約2mとなっていることを認め、「いつもより近い」と報告した。</p> <p>船長は、本件棧橋付近には南方への潮流があることを知っており、海面を確認し、僅かに本船の右舷方に流れる潮流を認めたが、本件棧橋には防舷材もあるので、潮流で流されても接舷時の衝撃が緩衝されると思い、正確な潮流を観測することなく、そのまま棧橋への接近を続けた。</p> <p>船長は、本船と棧橋との正横距離が約2mの状態を東南東進を続けたところ、潮流の影響により自身が想定していた以上の勢いで船体が本件棧橋に接近したので、バウスラスタを左としたものの、本船の</p>

右舷船首部が本件棧橋の東端ブロックに衝突した。(図1参照)

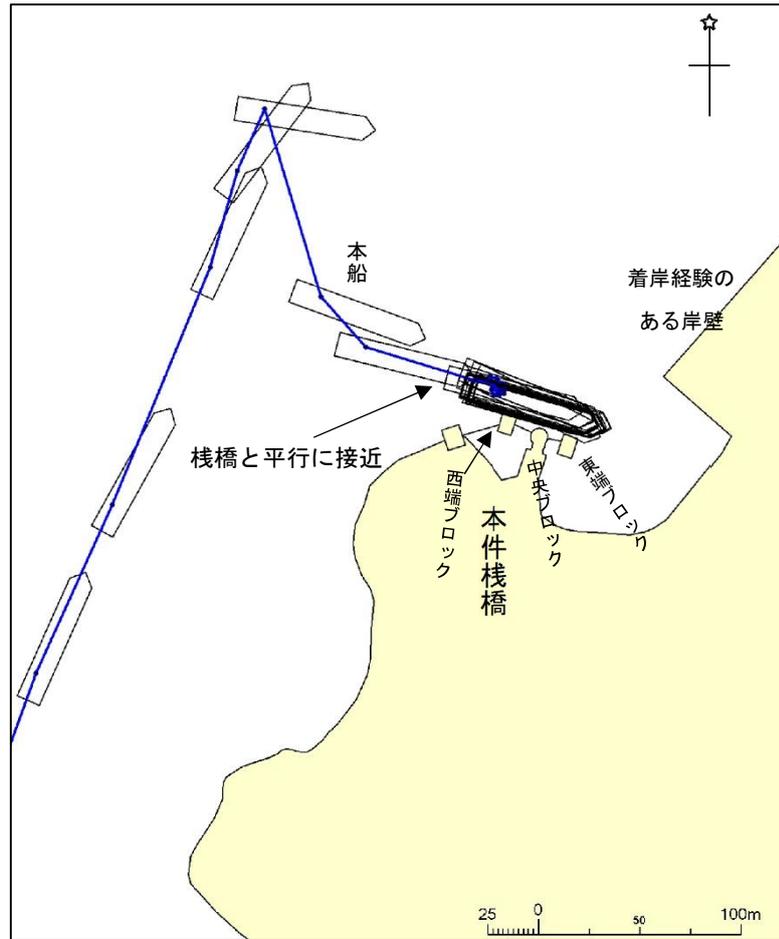


図1 衝突状況図

船長は、本事故の発生をA社に連絡し、A社担当者が海上保安庁に通報した。

船長は、ふだん着けている別の棧橋に平行に接近する際、正横距離を約8～10m離していた。

船長は、本事故時よりも強い潮流を受ける状況下で、本件棧橋東方沖にある付近のふ頭に離着岸を行った経験があり、今回の本件棧橋への着棧も潮流があるものの難しい操船ではなかったと思っていた。

船長は、着棧する前に潮汐表を確認し、着棧予定時刻を下げ潮末期の時刻に設定していたので、潮流の影響を受けずに着棧できると思っていた。

本件棧橋の東端ブロックは、本船が衝突した際、東南東方への行きあしが残っていたことで、防舷材が東南東方に引っ張られる形となり、防舷材を固定している金具が外れ、コンクリートに欠損が生じた。

分析

本船は、本件棧橋との正横距離を十分とらないまま、船長が、潮流の影響を適切に考慮しなかったことから、左舷方から潮流を受けながら同棧橋に向かい、船体の同棧橋への急接近を制御できず、同棧橋に

	<p>衝突したものと考えられる。</p> <p>船長は、本件棧橋の防舷材による着棧時の衝撃の緩衝を期待したことから、正確な潮流及びこれによる影響を考慮しなかったものと考えられる。</p> <p>船長は、本件棧橋との正横距離がふだんの着棧操船よりも接近していたものの、本件棧橋には防舷材もあるので、潮流で流されても接舷時の衝撃が緩衝されると考えたことから、そのまま棧橋への接近を続けたものと考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、本件棧橋との正横距離を十分とらないまま、船長が、潮流の影響を適切に考慮しなかったため、左舷方から潮流を受けながら同棧橋に向かい、船体の同棧橋への急接近を制御できず、同棧橋に衝突したものと考えられる。</p>
再発防止策	<p>A社は、本事故後、所属する乗組員等に対して本事故についての概要、原因を周知し、潮流の影響に関する注意喚起を行った。</p> <p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船長は、潮流の影響を受けながら着棧する場合、着棧する棧橋から十分な距離を取った後に徐々に接近するなどし、潮流の影響で本船が棧橋方向に流されていることに気付いたときは、着棧をやり直すこと。